

文芸欄

俳句 投稿 九四句 掲載 七五句

若葉句会(東)

門火焚く老は一言先 盆僧のいそがしさうに 経を読む 玉井 啓子 行く事も来る人もなき 今年盆 松本 弘子 園児等の踊るパプリカ 秋初め 西原 静子 宝愛句らぶ(中) 家ごもり人恋しやな法 師蟬 和子 畦道のコスモス揺れる を忘れおろし 悦子 空耳か思える風は秋の 玉打つ手止めて 鯛耳 ますす 道子 夏マスク外して見入る 無精髭 丘 竿先はびくりともせぬ 秋暑し 和志 大合唱ソプラノの蟬混 じり居り 哲男 風鈴や今日は八調かト 調かな 啓臣 青葉クラブ(北) 帰る子に振る手の高く 蝉しぐれ 馬場みつえ 露まとい麦茶持つ手に 汗のひく 山本 恒雄 片蔭を伝って行くは昔 提所 池野 英武 老い身や極暑もさほど 感ぜぬか 前川 弘子 高原ささゆり会(北) うつし世のコロナいつ 迄かたつむり 笠井 照子 羅に隠せぬ闘志大一番 若林 節子 花山会(北) 初蟬の声に朝食急ぎを 林 巳三子

花も木も夏の名残の狭 庭かな 井関 礼子 ひまわり句会(北) 毛筆は曾孫の初髪あや め月 辻 寿賀子 ひよどり台句会(北) 友思い逢えぬ寂しさ時 期を待つ 塩見 光子 熱戦や汗と涙の甲子園 田中 弘子 墓洗う石の字なぞり 偲 びけり 筒井 豊子 担担は熟寝より覚め 葡萄食む 中井 光子 羨なく暮るる一日や暑 に耐へる 矢谷登美子 北斗句会(北) 分蘖の進む稲株田水 湧く 秋山 弘之 守り継ぐ農村歌舞伎田 水湧く 岸下 庄二 片陰をこま付き自転車 競ひ行く 増田 嗣夫 底紅や遺影の母は若か りし 古林 美幸 片陰の露地に入り来む 縄電車 金行 隆 片かげを白杖の人すれ 違ふ 祇園 明敏 いつもより派手目を選 ぶ浴衣 久松 礼子 層芥ツイと走れる田水 湧く 北条 幸夫 片かげり瘦猫親子通り けり 脇坂有多子 片かげり自転車降りて 青を待つ 松本 洋子 語り継ぐ七十五年原爆 忌 黒田 久江 見山台新樹会(北) 今年また手抜き増え し盆用意 丸尾 嘉子 もう夏か五月ぶりの 顔合わせ 藤田 和夫 茗荷の子抱き合わせ見 る家紋かな 佐溝満喜子 コロナ禍の入院の母会 えぬ夏 松隈 弘子

梅雨じめり抽斗きしむ 昨日今日 貞永 弘子 福寿草句会(須) 丁寧山から崩すかき 水 藤田 栄一 あれはきつと多分初恋 西瓜割 岩田美代子 祭礼の言葉にかへて祭 笛 松下修二郎 熱戦を繰り広げたる炎 天下 上原 綾子 雨上がり葉陰に色ます 合飲の花 高見希豫子 多聞台とさわ会文芸部(垂) 瀧物の茄子あり 田舎者 中村佳代子 なす三つ転ろがしてあ る絵の心 久下 順司 冷や酒に冷たき茄子を うすく切り 樋山 隆夫 二坪の菜園なれど太き 茄子 山本雄二郎 瑠璃色のなすびの肌や 君想う 木村 敏博 桃山台文芸部(垂) 早葉月テラワーク中と 部屋に戸に 田畑美恵子 早く来い指定席の菓 夏つばめ 原田 菊枝 夏ゆくや遙かに聞こゆ ミーミン 大上 昭敏 さらく句会(西) 新盆に友と二人で人生 語る 大橋 治子 白き犬連れて散歩の避 暑夫人 小林 和子 ギター聴く海のホテル のバルコニー 阪本 道子 滴りを受けて岩苔玉と なり 田野 湯仙 行くあての無きこの秋 の旅雑誌 森本 珠実 秋簾西日包みてしまひ けり 山本スミ子 月が丘むつみ会(西) 弥陀様におなりか家族 で迎火 藤森 勝子

迎火にじつと通見る娘 かな 川上 富範 蟬しぐれとだえて涼し 夕しぐれ 武井 勇二 庭先に真白く咲きしア ガパンサス (東)武田 勝子 水鉄砲「虹作ろう」と ぬれる子ら (灘)都倉 知子

啼き終り蟬の羽音や体 温度 (灘)福井 悦子 下駄の音孫に着せたる 初裕 (灘)山上 幸子 絵馬ゆするほどに降り くる蟬しぐれ (北)竹村 良子 空蟬をかぞえて朝の散 歩かな (長)緒方安佐子

メール止め残暑見舞ひ に手描の絵 (須)渡辺真佐代 耐え忍ぶ臥待月の五色 塚 (垂)根本 一 庭の虫はずれ音あり大 合唱 (垂)藤田 恵子 工具展まさかりもあり 汗思ふ (西)小幡美沙子 雲連れて絵筆闊達秋の 空 (西)寺岡 洋子

短歌

花山短歌会(北) 一合の米を研ぎつつ聞 く蟬の声いとほしく夕 暮れのころ 木下いく子 買ってより今日は六日 目独りにてバナナの皮 の薄くなりおろり 水越 敦子 大正の母の好みしプラ ウスの縞目涼しく木の 蔭に干す 古林 保子

桂木ひふみ会(北) TVジャック韓流ドラ マは午さがり 荒木 宗久 運命的ドラマのような ワンシーン 京念久美子 役立つ心がまえ介護の ドラマ 笹岡 淑子 コロナウイルス終息の ないドラマ 杉尾 悦子 都構想やっどドラマの 幕あがる 大和ケント 筑栄会(北) コロナでてピリケンさ んもマスクかけ 葉子 孫達のおそろい浴衣出 番なし かづゑ 正義なくワイロで動く この地球 ととき子 着なれない浴衣身につ け汗をかき まり子 カレンダーコロナ解除 でにぎやかに まさこ

西萩原 浩一 半年も外出控えて気も 沈む (西)藤原 文子 雑草も水分補給30度 ままならぬ待ちこがれ てる子の帰省 (西)松井 文子

川柳

はからずも真実を知り てつゆくさの染めたる ごととき心褪せゆく (灘)上田 節子 照りつける七色トカゲ 矢のごとく重し重しと 百日紅の花 (中)水口 敏子 酷暑なり上人来訪待ち わびて話題ふくらむ年 一回 (北)かんいち 暑い暑い熱中症も注意 してコロナと同じしじ ぶとくこわい (北)真木香代子 このご時世行き交う人 はみなマスクたまに黙 礼スパーへの道 (須)江口 啓子 白きものあらまたマス ク道端に平気で捨てる 人いる憂い (須)松井寿美江

山里のふるさとの母校 グランドは後輩たちの 掛け声響く (西)瀬尾省二郎 水を替え氷ひとかけ足 すキキョウ生気戻りて 涼やかに咲く (西)松浦 妙子

お祭りはごちそう作り 家ごもり (垂)小高 肇 家ごもり (西)萩原 浩一 半年も外出控えて気も 沈む (西)藤原 文子 雑草も水分補給30度 ままならぬ待ちこがれ てる子の帰省 (西)松井 文子

へなぶり

床仏間ベッド並べて机 置き八十路の城は天下 一品 (北)清水 久子

あとがき

今年の夏は暑かっ たですね。終わりに は大きな台風二つ、 新聞やテレビ等は最 大級の形容をしてい ましたね。 それにやはりコロ ナです。下火になっ たといわれますが、 一番怖いことです。

◆広報部からのお知らせ 俳句・短歌・川柳・へなぶりのご投稿に ついて、お一人様につき、いずれか一種で お願いたします。ただし、一種に複数、 例えば俳句を三句などのご応募は可能で す。 なお、文字は楷書ではっきりと、特殊な 読み文字にはふり仮名(読み仮名)を記 入してください。

◆投稿募集 4面文芸欄への投稿をお待ちしていま す。皆さまの作品をお寄せください。 作品、住所、電話番号、単位クラブ名、 お名前を必ずご記入ください。 (投稿先) 〒650-0016 神戸市中央区橋通3丁目4-1 KOBESHINIA CLUB事務局 「広報紙〇〇係」 FAX 341-8524 ※〇〇は(俳句・短歌・川柳・へなぶ り)等 (原稿締切) 「掲載月の前々月末」

老人クラブ会員様 おひとり様の老後対策 遺言・相続税・任意後見・登記 税理士・司法書士・弁護士・行政書士 による 無料個別相談!! 秘密厳守 神戸駅前合同事務所エール | 甲南スカイビル9F ★ JR 神戸駅 山側徒歩2分 予約電話: 078-371-2611

おかたづけ専門! どこよりも安い!! 親切!! お見積無料!! より良い人生のために!! お気軽にお問い合わせ下さい!! 0120-418-141 『遺品整理』『生前整理』に関するお問い合わせもお待ちしております! 古物商許可証 第631190600038号 産業廃棄物収集運搬許可証 第02805006471号 〒651-2129 兵庫県神戸市西区白水1丁目8-8 TEL:078-978-3200 FAX:078-978-3201 【営業時間】平日9:00~17:00(土・日・祝日休み)